

研究データ管理の観点から、 研究の信頼性を高めよう！

自己流でデータの処理を行い後に適切な処理ではなかったと気づいたり、データが再現できずに困ったりした経験はありませんか？研究データをしっかり管理することはデータの信頼性・研究の公正性を担保する基本であり、研究の品質向上にもつながります。

本ワークショップではある事例を基に、①そこにどのような課題が存在するのか、②その課題の克服に現在の研究倫理教育は有効か、別の教育が必要なのか、③その課題を克服して適切なデータ管理を実施するための仕組みやデータ管理基盤はどのようなものであるべきか、などについてワークショップという場で検討してみたいと思います。

ワークショップに先立ち、10/30(木)、11/27(木)には研究データ管理セミナーを開催しますので、ぜひ併せてご参加ください（未受講の方は、事前にセミナー録画映像をご視聴ください）。

〔研究データ管理セミナー開催のお知らせ〕https://www.amed.go.jp/news/event/20251030_workshop.html

2025.
第1回
東京
12.12 金
13:30-17:00

TKPガーデンシティPREMIUM
東京駅丸の内中央（ホール12 I）
東京都千代田区丸の内1-9-1 丸の内中央ビル12階

2026.
第2回
大阪
1.31 土
13:30-17:00

ナレッジキャピタル カンファレンスルーム
(RoomB 05+06+07)
大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 北館 タワーB10階

※各回の内容は同じです。

対象

- 研究データを取り扱う研究者
- 研究データの管理に関する教育等を行う方(教員、事務局等)
- 研究データのシステム基盤整備等を行う方(研究機関、民間企業)
- 研究公正活動に関心のある方(大学院生の方も可)

※年齢を問わず広く研究者等を対象としていますが、将来を担う若手研究者等の積極的な参加を期待します。

定員 各回 40名 ※先着順に受付、定員に達し次第、受付を終了します。

参加費 無料

講師・ファシリテーター(各回共通)

飯室 聡(国際医療福祉大学 教授) / 田中 智之(京都薬科大学 教授) / 岡林 浩嗣(筑波大学 准教授) / 込山 悠介(国立情報学研究所 准教授)
藤田 烈(国際医療福祉大学 教授) / 安井 裕之(京都薬科大学 教授) / 河合 孝尚(広島市立大学 特任教授)
平木 俊幸(国立情報学研究所 特任研究員) 東京のみ / 甲斐 尚人(大阪大学 准教授) 大阪のみ

プログラム

● 講演 事前聴講
「研究データ管理の観点から、
研究の信頼性を高めよう！」

● 事例の紹介

● グループワーク

● 発表、総括

● 開催案内 https://www.amed.go.jp/news/event/20251212_workshop.html

● お申し込み 右記サイトよりお申し込みください ▶

● 問い合わせ先 株式会社プロセスユニーク
(受注会社) メールアドレス workshop2025@p-unique.co.jp

第1回
12.12 金
東京



第2回
1.31 土
大阪

